

令和5年6月9日
日本原子力研究開発機構
大洗研究所

大雨によるモニタリングポストの一部停止について

1. 概要

令和5年6月3日（土）2時頃、大雨の影響によりモニタリングポストP-11（以下、P-11）が浸水し、P-11の測定が停止した。また、モニタリングポストP-12（以下、P-12）及び同P-13（以下、P-13）については、P-11と共用する上流側の漏電ブレーカが作動したことにより本来の無停電電源システムによる供給ができなくなったものの、各局舎内にあるUPSのバッテリーにより、また、その後一般系システムに電源を切り替えて、測定を継続した。（添付1 モニタリングポスト配置図、添付2 モニタリングポストのトレンドグラフ）

P-12及びP-13については、6月5日（月）16時頃より、本来の無停電電源システムに切り替え、通常の運用を再開した。P-11については停止が続いており、代替措置による測定を行っている。

2. 主な時系列

【6月3日（土）】

- 2:16 : P-11、P-12、P-13のUPSが停電を検知。測定は継続していることを確認。
- 3:10 : P-12がUPSのバッテリーで測定が継続していること、局舎のエアコン等の一般系電源は正常に動作していることを現地で確認。
- 3:21 : P-11測定停止。P-11の局舎周辺及び局舎内が浸水していること、局舎の照明等の一般系電源は正常に動作していることを現地で確認。（添付3 P-11の浸水の状況）
- 3:30 : P-11の局舎周辺でサーベイメータによる線量率の代替測定を開始。
- 3:36 : P-13がUPSのバッテリーで測定が継続していること、局舎の照明等の一般系電源は正常に動作していることを現地で確認。
- 6:47 : P-13について一般系電源システムへ切替えたうえで、非常用発電機による給電実施。
- 7:03 : P-12について一般系電源システムへ切替えたうえで、非常用発電機による給電実施。
- 8:09 : P-11に可搬型モニタリングポストを設置し測定を開始。
- 11:48 : P-12、P-13について非常用発電機による給電から商用系による給電に切替え。

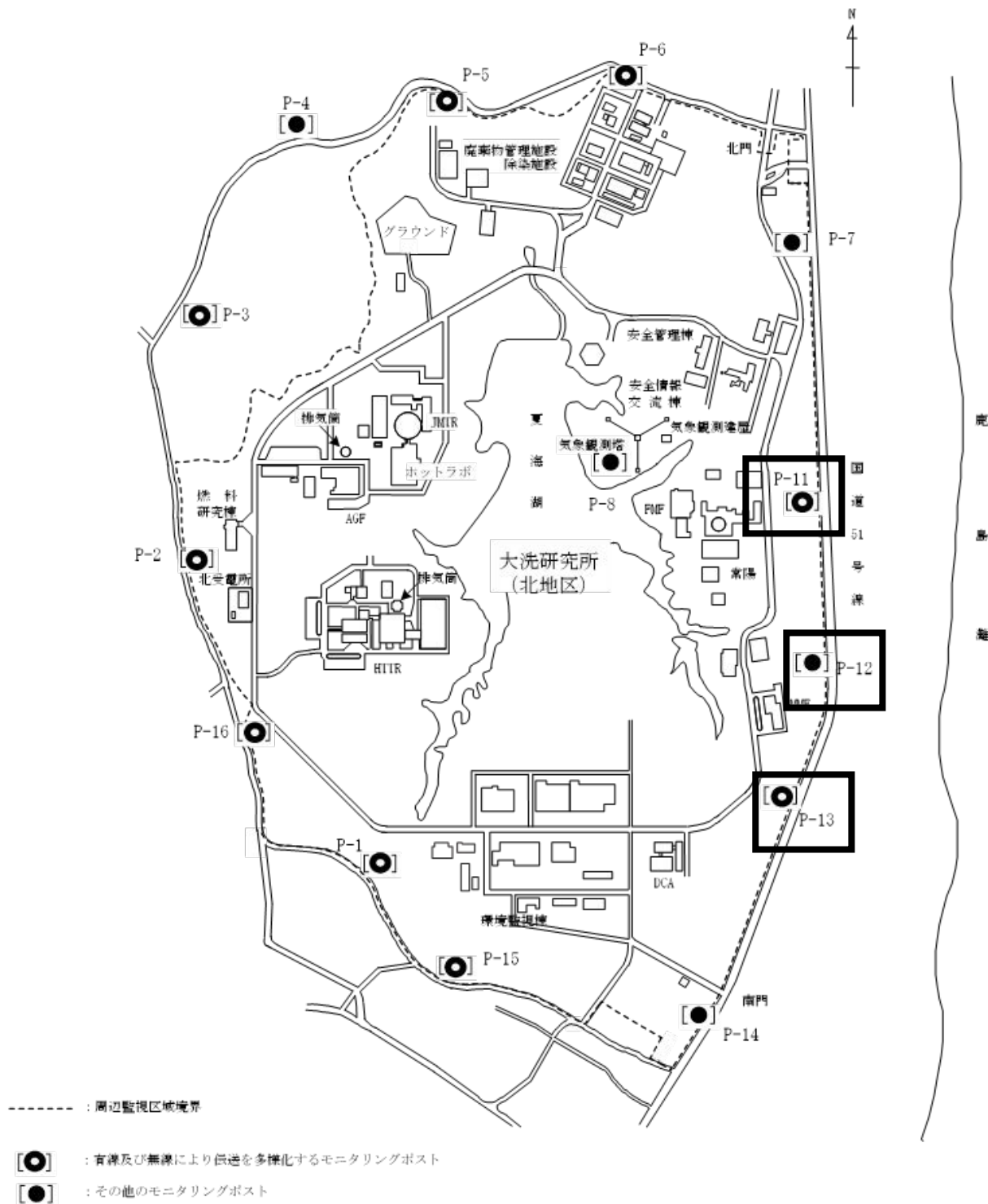
【6月5日（月）】

- 15:20 : 漏電のないことを確認のうえ、P-11を隔離し、漏電ブレーカを復帰。
- 16:09 : P-12についてUPSを含む無停電系電源システムに切り替え、正常状態に復帰。
- 16:28 : P-13についてUPSを含む無停電系電源システムに切り替え、正常状態に復帰。

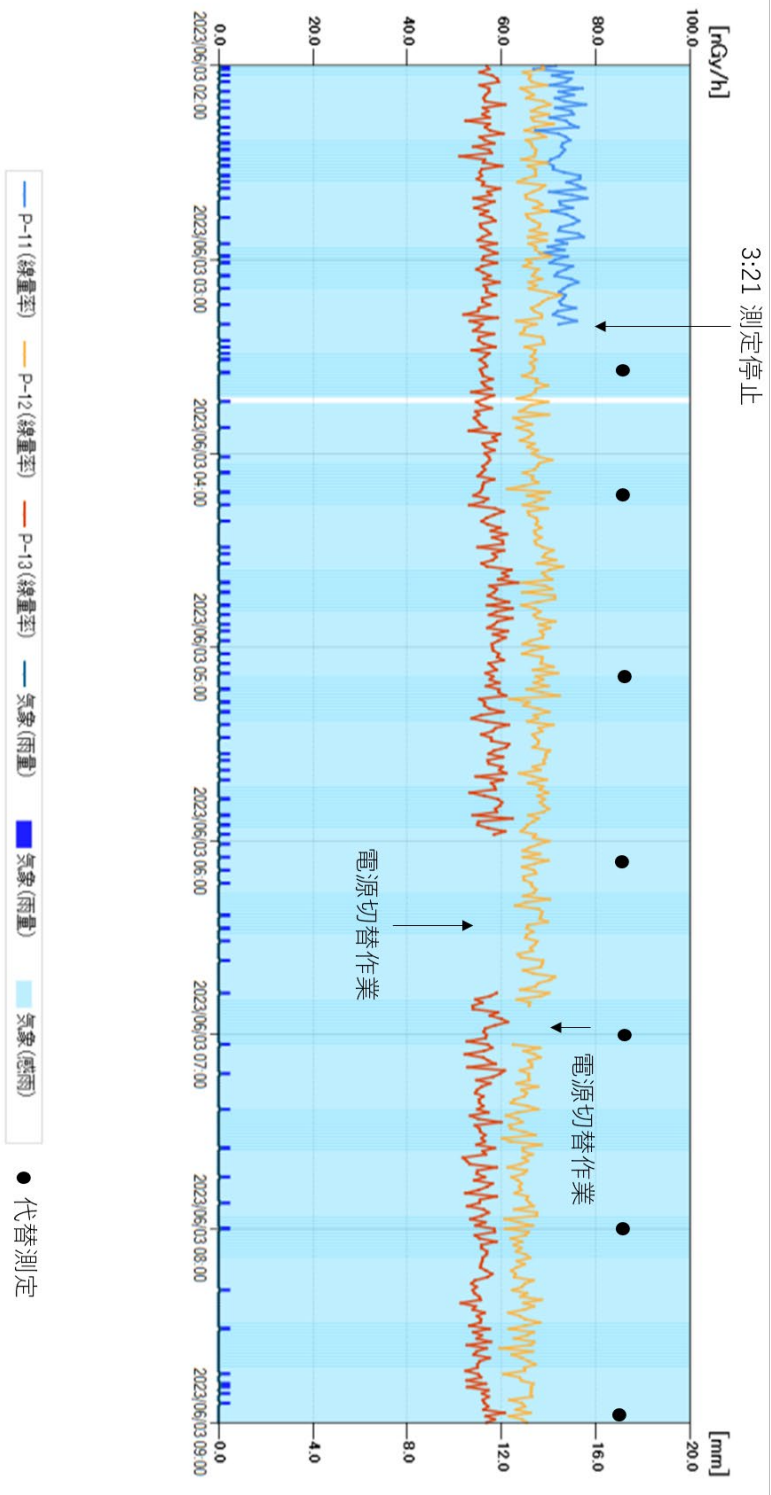
3. 現在の状況

P-11について、サーベイメータ及び可搬型モニタリングポストによる代替測定を継続している。なお、浸水対策として土嚢による雨水侵入防止を図るとともに、排水ポンプを配備した。浸水による影響調査を行っており、復旧時期は未定。

以上



モニタリングポスト配置図



モニタリングポストのトレンドグラフ

モニタリングポスト P-11 の浸水の状況



P-11 局舎周辺の浸水状況（担当者からの聞き取りに基づく再現）



P-11 局舎内の浸水状況